

別注品の色について

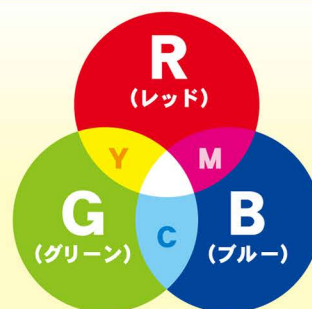
まず、色の3原色には光の三原色（RGB）と色料の3原色（CMY）があります。

RGB カラーとは

RGB カラーは、光の三原色「R（赤）・G（緑）・B（青）」のことです。パソコンのディスプレイ（モニター）やデジカメ、スキャナなどは、このRGBカラーで色が表現されています。

これらは混ぜれば混ぜるほど色が明るくなり、白色に近づいていくため『加法混色』と呼ばれています。

RGB カラー
(光の三原色)



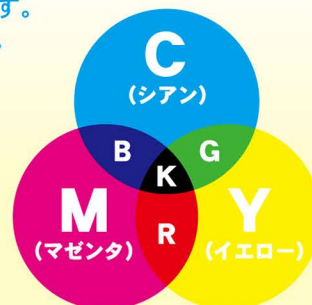
CMYK カラーとは

CMY カラーは、色料の三原色「C（シアン）・M（マゼンタ）・Y（イエロー）」のことです。印刷物（のぼりなどの染物も含む）はこのCMYKカラーでプリントされています。

これらは混ぜれば混ぜるほど色が暗くなり、黒色に近づいていくため『減法混色』と呼ばれています。ただ、実際にはどんどん濁った灰色になっていき、一般的にイメージする黒色にはなりません。インクジェット印刷では、きれいな濃い黒色を表現するために、シアン（C）・マゼンタ（M）・イエロー（Y）にブラック（K）のインクを加えた4色でフルカラーを表現しています。

そのため、使用しているインク以上に鮮やかな色は表現が困難（色を混ぜれば混ぜるほど濁った色になるため）です。また、色の明るさについても、インクを乗せる生地がどの程度光を反射するのかによって変わりますので、色そのものの明度についても調整はできません。

CMYKカラー
(色料の三原色)



パソコンの画面と実際の印刷物の色の違いについて

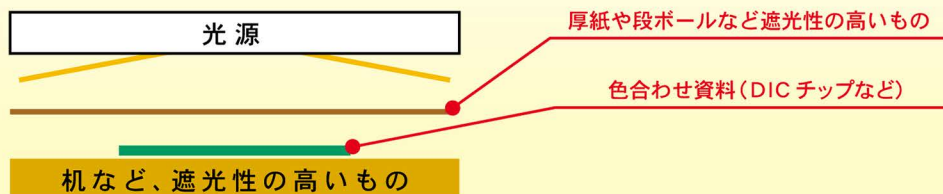
お客様からのご意見として「パソコンで見たときと、実際に仕上がってきた製品の色のイメージが違う」というお声があります。

これは上記の色の成り立ちの違いが原因で、モニターに映る色と実際の印刷物の色は異なりますのでご注意ください。また、印刷機と、印刷機にセットされているインクの種類によっても色は変わります。デザイン上に表現したい色がある場合には、色合わせのご指示をお願い致します。

色合わせについて

色合わせには大きく分けて2種類の方法がございます。色の見本となる現物を弊社にお送りいただき見本を参考に色を合わせる方法と、DIC 番号で色を合わせる方法です。

どちらも弊社で出力可能な色域内での色合わせとなりますので、現物を確認させていただいた後、もしくはDIC番号をお知らせいただいた後で、合わせられる色かどうかを判断させていただきます。色合わせを行う場合には、光量を同程度にするために背面からの光の透けと、直射光を遮るようにした状態で色を見比べます。



それは、色見本の分光特性（波長毎の反射の強さ）を一致させることが必要だからです。言い換えると、使用されている色の素であるインク（染料、顔料）の種類とメディア（紙や布など、色が乗っている素材）を一致させるということです。ところが、同じインク、同じ生地の色見本を用意することは現実的に考えて困難なケースがほとんどです。そこで、直射光による反射と、裏面からの透けを極力排除することで近似色を見極めるため、上記のような方法を取っています。もちろん完全に光を遮ってしまうと、当然真っ暗になってしまいますので、遮るのはあくまでも直射光だけです。